

建設技術審査証明書



技術名称：SSL-CE型永久アンカー工法
(周面摩擦先端圧縮型永久アンカー工法)

技審証第 0203 号

(開発の趣旨)

従来の永久アンカー工法の改良版として、材料に対して確実な防錆対応を施すとともに、グラウトに引張り亀裂が発生しづらい圧縮型の支持機構を有する定着特性の安定したアンカーを開発して、アンカーの耐久性の向上を図る。また従来の圧縮型アンカーと同程度の削孔径で孔底からグラウトを注入できる機構を開発し、施工性の向上を図る。

(開発の目標)

- (1) 永久アンカーとして構成する材料が長期にわたり耐久性を保持できること。
- (2) アンカーが長期にわたり耐久性を保持できる多重防錆構造を有しているとともに、荷重を効果的に分散する耐荷体により応力分散特性が向上すること。
- (3) 実際の施工に際して、確実なグラウトができ、アンカーの施工性が良好であること。

一般財団法人 砂防・地すべり技術センターの建設技術審査証明事業（砂防技術）実施要領に基づき、依頼のあったSSL-CE型永久アンカー工法の技術内容について、下記の通り証明する。

平成 14 年 9 月 17 日
更 新 平成 19 年 9 月 17 日
再 更 新 平成 24 年 9 月 17 日
再々更新 平成 29 年 9 月 17 日

建設技術審査証明事業（砂防技術）実施機関
一般財団法人 砂防・地すべり技術センター

理 事 長

南 哲 行

記

1. 審査証明の結果

上記開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果、本工法は以下の通りであった。

- (1) 永久アンカーとしての材料性能による耐久性
耐荷体に施されるダクロタイズド処理や防錆油は、アンカーの一般的な使用環境下では十分な防食性能があり、またテンドンを被覆するポリエチレン材料は十分な強度や耐久性を有していることから、テンドンおよびアンカーを構成する材料は長期にわたり耐久性を保持できると認められる。
- (2) アンカーの構造性能
アンカー体はグラウトに引張り亀裂が発生しづらい圧縮型であり、かつ耐荷体として剛な固定金具と補強鋼材を組み合わせた構造によって応力を分散している。
またテンドンは防錆油の充填されたアンボンドシース（ポリエチレン）と内部グラウト、さらにポリエチレンシースによって保護された多重防食構造となっており、長期にわたり耐久性を保持できると認められる。
- (3) アンカーの施工性
シースパイプがグラウト注入パイプを兼ねた構造であることにより、従来の圧縮型アンカーと同程度の削孔径でグラウトを孔底から注入することが可能であり、実際の施工に際してアンカーの施工性が良好であると認められる。

2. 審査証明の前提

- (1) 本工法の材料製作は適正な品質管理のもとに行われるものとする。
- (2) 本工法の計画、設計、および維持管理は「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（JGS4101-2012）、公益社団法人地盤工学会」ならびに本建設技術審査証明報告書の付属資料である「SSL-CE型永久アンカー工法設計施工指針、平成29年9月」に基づき適正な管理のもとに行われるものとする。

3. 審査証明の範囲

アンカーの材料性能、構造性能の範囲とし、地盤に関わる特性や、永久アンカーの使用方法・目的の判定は除く。

4. 審査証明の詳細（別 添）

5. 審査証明の有効期限 平成 34 年 9 月 16 日

6. 審査証明の依頼者

国土防災技術株式会社
日 特 建 設 株 式 会 社
ラ イ ト 工 業 株 式 会 社
サ ン ス イ ・ ナ ビ コ 株 式 会 社

所在地 東京都港区虎ノ門3丁目18番5号
所在地 東京都中央区東日本橋3丁目10番6号
所在地 東京都千代田区九段北4丁目2番35号
所在地 東京都中央区日本橋茅場町2丁目7番1号